



カナダ – 追加利上げ、通商政策は引き続き注視 –

POINT



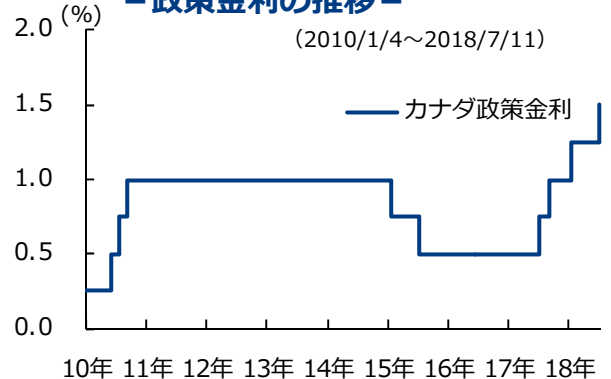
政策金利を0.25%引き上げ

7月11日、カナダ中央銀行は政策金利を1.25%から1.50%に0.25%引き上げることを決定しました。

カナダ中銀は2017年7月以降3回利上げを行ってきましたが、今年1月以降は据え置いてきました。

今回の利上げ理由について、声明文では「住宅価格は安定しつつあるものの、米国の利上げに伴うカナダドル安や通商摩擦の影響などから物価が上昇傾向にあるため」と説明しています。インフレ率については、今回「ハト派寄り」の文言は新たに追加されなかったものの、中銀は「目標値近辺を維持するために利上げは正当化されると政策委員会は見ており、統計に基づき今後も段階的なアプローチを取る」との姿勢を示しています。

– 政策金利の推移 –



POINT



カナダドルの動向

市場ではカナダの経済指標が好調なことや中銀関係者のこれまでの発言を受けて今回の利上げがコンセンサスとなっており、足元のカナダドルは対円、対米ドルで強含んで推移していました。

また今後の金融政策に対する中銀の積極姿勢が確認できたことで、緩やかな利上げ継続への市場の期待が高まり、カナダドルは対米ドルで一時上昇しました。7月11日の海外終値は、1米ドル=1.3209カナダドル、1カナダドル=84.81円となっています。

– カナダドルの推移 –



今後の見通し

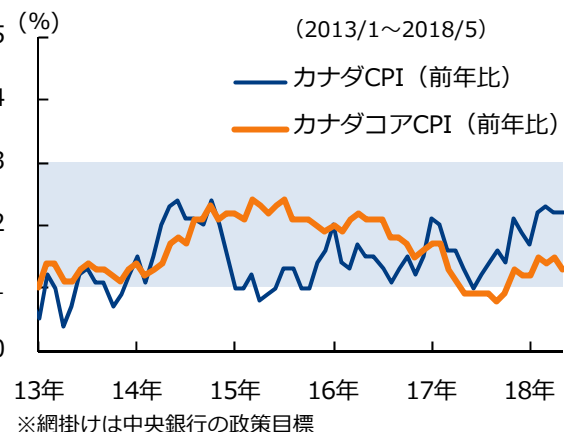
通商リスク残るものの、追加利上げ期待続く

カナダ政府は7月1日、米国によるカナダ産の鉄鋼およびアルミニウム製品への関税賦課に対し、対米輸入に対する報復関税を発動しました。引き続き米国との厳しい交渉が予想されており、交渉の結果次第ではカナダドルは大きく変動することが予想されます。

一方、カナダ経済は、堅調な個人消費や外需、国内の設備投資などに支えられ、今後も堅調に推移すると予想されており、カナダ中央銀行に対する追加利上げへの期待が続くと見られます。

通商問題は引き続きリスク要因ですが、カナダ経済の成長が見込まれることや追加利上げに対する期待感などを背景に、カナダドルは底堅く推移すると予想されます。

– 消費者物価指数 –



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大 0.97200%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会